事例No.	874
公表年度	R1
団体の属性	複数団体
団体名	熊本県阿蘇地域７市町村

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	人材育成の取組事例

事例内容・タイトル

「阿蘇地域林業担い手対策協議会」による林業担い手の育成

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

人材育成・担い手対策

熊本県 阿蘇地域7市町村（阿蘇市・南小国町・小国町・産山村・高森町・西原村・南阿蘇村）「阿蘇地域林業担い手対策協議会」による林業担い手の育成

わがまちの税活用方針

- 平成24年九州北部豪雨、平成28年熊本地震等、阿蘇地域は災害が相次いで発生しており、森林を適正に管理して防災機能を向上させることが住民らからも強く求められている。
- しかし、阿蘇地域の林業担い手は高齢化が進んでおり近い将来に半減する見通しであることから、担い手を確保・育成して森林整備の体制を維持することが課題となっている。
- 労働力の獲得を巡っては業種間の競争も激しくなっており、林業の魅力を高め、アピールしていくことが必要である。
- そこで、阿蘇地域の7市町村と関係事業体（森林組合、民間事業者）が協力して「阿蘇地域林業担い手対策協議会」を設立し、森林環境譲与税を主な財源として担い手の確保に向けた取組みを行う。

主な取組・概要

阿蘇地域林業における新たな担い手の確保・育成、就労環境の改善及び技術の向上を図るため、次の取組みを行う。

(1) 情報発信・PR
- facebook、HP、新聞等による情報発信
- パンフレット配布による情報発信
- 高校生就業ガイダンスの実施
- 伐木チャンピオンシップの開催による林業の魅力発信
- 市街地での写真パネル展の開催

(2) 就業定着に向けた支援
- 就業希望者に対する体験研修を実施

(3) 就業環境改善に向けた支援
- チェンソー安全技術練習会の開催

(4) 林業担い手間の情報交換・研修等
- 座談会開催による意見交換・認識共有



事業費　6,983千円
（うち譲与税6,000千円）

事業期間　令和元年4月～令和2年3月

事業スキーム

［実施体制］

会長	阿蘇市農政課長
副会長	阿蘇森林組合長
会員	阿蘇地域市町村（7）
	阿蘇地域内認定事業体(11)
事務局	熊本県阿蘇地域振興局林務課（専従職員1名雇用）



［市町村ごとの譲与税支出金額算定］

7市町村の支出額合計を6,000千円とし、譲与税額に応じて按分

工夫・留意している点、特徴等

- 防護服の着用や、高性能林業機械の活用など、従来とは違う林業のイメージ(かっこよさ、機能性等)の定着を念頭に情報発信、イベント開催等を実施している。
- 林業の労働環境が安全であることをアピールできるよう、会員の安全意識向上を第一とした企画立案をしている。